



奉仕団とやま

発行

赤十字奉仕団
富山県支部委員会富山市飯野26-1
日本赤十字社富山県支部内
電話 (076) 451-7878

年1回発行

令和の時代も3年目を迎えました。元号が発表された時のあの気持ちの高揚が、昨日のことのように思い出されます。

令和2年冬、後に「COVID-19」と名付けられた新型のコロナウイルス感染症の世界的流行によって、私たちの生活は急激に変容しました。なかなか購入できないマスク。手作りをされた方もいらっしゃったことでしょう。

「3つの密を避けましょう」とともに春頃に呼びかけられたことは、「不要不急の外出は控えましょう」。ウイルスは人に入り込んで運ばれ感染を広げるため、その拡大を防ぐために人々の動きを止めることは、止むを得ないことでした。

ボランティアの多くは、対面での活動です。国連の世界保健機関（WHO）の定義では、高齢者は

65歳以上とされていますので、その定義を踏襲すると赤十字奉仕団員自身や奉仕団員が接する人の多くが比較的重症化しやすいとされる高齢者となりますし、基礎疾患をお持ちの方もおられます。自分の身を守るため、大切な家族や周囲の人を守るため、全国の赤十字奉仕団は多くの活動を自粛せざるを得ませんでした。

そんな中でも、さすがは働き者、富山の赤十字奉仕団員。消毒や手洗い、ソーシャルディスタンスを心掛け、6月頃からは可能な範囲で活動を継続してくださいました。新型コロナウイルスの影響は、まだしばらく続きそうです。感染予防を行いつつ、このコロナ禍をみんなで乗り切りましょう。（県支部）



非接触型体温計を 奉仕団に配備

新型コロナウイルスによる感染は、今もお終息が見通せない状況です。

このような状況下でも、赤十字奉仕団の皆様には感染対策を行った上で活動を継続いただくような場面もあることから、県支部から各奉仕団に非接触型体温計を配備しました。

活動や会議を行われる際にご利用ください。

体温計へのシール貼付と電池装填は、青年奉仕団が手伝ってくれたよ！
このお手伝いの後には、献血にも協力してくれたよー。



赤十字奉仕団結成状況

(令和2年3月31日現在)

全 国	地域赤十字奉仕団	2,124団	1,150,227人
	青年赤十字奉仕団	157団	6,327人
	特殊赤十字奉仕団	634団	31,947人
	計	2,915団	1,188,501人
富山県	地域赤十字奉仕団	53団	3,440人
	青年赤十字奉仕団	2団	66人
	特殊赤十字奉仕団	7団	150人
	計	62団	3,656人

富山県赤十字奉仕団 6つの統一活動

- ① 在宅ひとり暮らし高齢者訪問
 - ② 社資募集、赤十字運動月間キャンペーン協力
 - ③ 災害時における救援活動
 - ④ 献血推進活動
 - ⑤ NHK海外たすけあい
 - ⑥ 赤十字講習の受講
- その他、地域のニーズに合わせた活動を各団で行いましょう。

令和3年度富山県赤十字奉仕団事業計画

4月	赤十字奉仕団富山県支部委員会（富山市）
5月	赤十字運動月間 全国赤十字大会（東京都） 在宅ひとり暮らし高齢者訪問
6月	赤十字奉仕団中央委員会（本社） 第3B青年赤十字奉仕団代表者及び担当者会議（岐阜県） 赤十字奉仕団富山県支部委員会常任委員会・研修部会
7月	支部赤十字奉仕団担当者会議（本社・WEB） 愛の血液助け合い運動月間 赤十字奉仕団研修会（富山市、高岡市） オンラインを使った情報交換体験会（県支部） 赤十字ボランティア・リーダー研修会（関東地方） 赤十字奉仕団富山県支部委員会常任委員会（県支部） 第3B支部合同災害救護訓練（富山市） 第3B赤十字奉仕団委員長並びに担当者会議（愛知県） 赤十字奉仕団委員長会議（富山市） NHK海外たすけあい
12月	赤十字奉仕団研修部会役員会（県支部） 赤十字奉仕団とやま編集委員会（県支部） 赤十字奉仕団富山県支部委員会常任委員会（県支部） 赤十字奉仕団支部指導講師研修会（本社） 赤十字奉仕団とやま編集委員会（県支部） 赤十字奉仕団とやま（第37号）発行

*全国を6つのブロックに分け、富山県支部が属する第3ブロック（第3B）は、富山・石川・福井・岐阜・長野・愛知・静岡・三重の8県で構成されています

赤十字奉仕団
富山県支部委員会

役員候補者

令和3年3月2日開催の常任委員会で、支部委員会の役員候補者が選出されました。（任期2年）

委員長	岡崎 智子（富山地区） （八尾町赤十字奉仕団委員長）
副委員長	吉國 姫子（高岡地区） （福岡町赤十字奉仕団委員長）
〃	深川 紀子（新川地区） （上市町赤十字奉仕団委員長）
〃	山田 順子（砺波地区） （砺波市赤十字奉仕団委員長）
〃	山口 康司（特 殊） （富山県無線赤十字奉仕団委員長）
常任委員	中村ひとみ（富山地区） （白菊赤十字奉仕団委員長）
〃	竹苗 典子（高岡地区） （下村赤十字奉仕団委員長）
〃	大角 秋代（新川地区） （入善町赤十字奉仕団委員長）
〃	中西 順子（砺波地区） （小矢部市赤十字奉仕団委員長）

令和3年4月20日開催の支部委員会にて承認される予定です。

「奉仕団とやま」リニューアル

読みやすく見やすい、そして親しみやすい機関紙を目指して、「奉仕団とやま」の紙面をリニューアルしました。

●文字詰めは15文字に

1段の文字詰めは15文字になりました。

●紙面にもゆとりを

行数を減らして余白を増やし、ゆとりある紙面にしました。



コロナ禍での 奉仕団活動報告

日本赤十字社作成のガイド「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう!」は、ご覧いただけましたか?

赤十字奉仕団員の信条には、「常にくふうして人びとのために、よりよい奉仕ができるよう努める」という一節があります。

現在のコロナ禍でも、富山の赤十字奉仕団は工夫をして活動を行っています。このガイドを活用した奉仕団の中から、その内容を紹介してもらいました。

砺波市

感染確認者が1月26日現在、世界全体で1億人を超える中、3密対策や手洗い、消毒、

マスクの着用等を徹底しながら一日も早く収束することを願いつつ不安な毎日を送っています。

県支部からいただいたガイドには、感染症は①病気②不安③差別という3つの顔を持ち私達の生活に大きな影響を及ぼすことやこれから負のスパイラルを断ち切ることに必要であるとされておりとても参考になりました。

早速、役員はじめ団員などに配布し、また11月の室内研修にも取り入れ、みんなで読み合わせて理解を深めることが出来ました。3月の総会でも活用し赤十字活動の大切さと共にひとりでも多くの方に広めたいと思っています。



(委員長 山田順子)

山 田

12月5日、参加団員14名で富山市山田地域にお住いの高齢者訪問を実施しました。集合

時は検温と手洗い、3密には十分注意し、弁当作りから始めました。団員はみんな手際良く、2時間ほどで約60人前を完成させました。お弁当と前日から役員で準備したマスク5枚、カイロ10枚、花鉢、ガイド本を携え、また出発にあたり訪問時間を5分以内に済ませるなど互いに注意点を確認しあい担当地区へと急ぎました。

訪問3日後、立ち寄ったお店で偶然にも対象者にお会いしました。お配りしたマスクをちゃんと着けておられ、弁当への感謝の言葉、そしてガイドが読みやすいのでよく読んでいるとの言葉も頂き、とても嬉しかったです。未曾有のコロナ禍の中で訪問活動が無事に実施でき団員一同安堵しました。



(委員長 田中幸子)

南砺市利賀

コロナ禍で赤十字奉仕団としての活動ができない中、食改利賀支部の主催で奉仕団、地

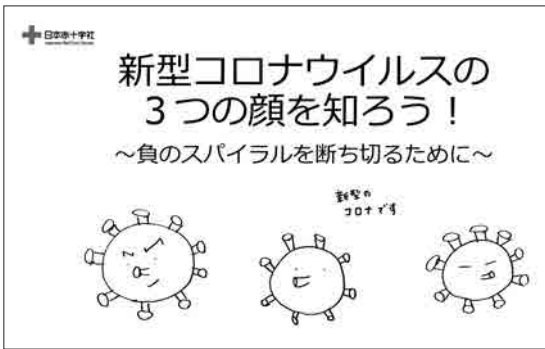
域づくり協議会との共同活動として、地域の皆さんが楽しい時間を過ごせたらと高齢者サロンを開催しました。感染防止のため参加者には3密を避け、検温、消毒やマスクの着用をお願いしました。奉仕団からはガイドを使って説明。

この感染症の怖さは病気が不安を呼び、不安が差別を生み、差別がさらなる病気の拡散につながることに。知らず知らずのうちに私達の生活に影響を及ぼしている。それぞれの立場で出来ることを行っていくと理解促進をお願いしました。

また、地域の活動発表会や訪問支援の対象者、奉仕団員にもこのガイドを配布し感染症への理解や普及活動を行いました。



(委員長 野原喜恵子)



令和2年度 富山県赤十字奉仕団研修会

今年度の研修会は、新型コロナウイルス感染症の影響で、年度当初の予定から日程や内容を一部変更し、開催しました。

例年とは違い、講義後にはグループワークではなくアンケートを実施したことから、参加者のみなさんから忌憚のないご意見やご感想、ご質問が寄せられました。その一部を紹介します。

健康チェック表



受付で健康チェック

健康チェック表	
令和2年7月18日	
氏名	
所属・団体の名称	
検査項目	検査結果
体温	℃
鼻汁・鼻血（はなみず・はなづま）	あり ・ なし
咽頭痛（のどがのど・痛む）	あり ・ なし
呼吸困難（息苦しい）	あり ・ なし
全身倦怠感（だるさ）	あり ・ なし
倦怠感・疲労感（長い時間集中できない）	あり ・ なし
腹痛	あり ・ なし
嘔吐・下痢（吐きけ・下痢）	あり ・ なし
その他（記入する欄）	
最近2週間以内の海外への渡航	あり ・ なし
家族・身近な人への感染状況	あり ・ なし
検査結果の通知方法	メール ・ 電話
手洗いや手指消毒はしましたか	はい ・ いいえ
マスクは着用していますか	はい ・ いいえ

【注意事項】
○検査・検体の項目
検査結果は、すべての項目が「なし」であること
○検査結果の通知方法
すべての項目が「はい」であること



会場内はソーシャルディスタンス

※「赤十字ボランティア活動ブックレット」活用

- ・ 赤十字の歴史
- ・ 赤十字の基本原則
- ・ 富山県赤十字奉仕団6つの統一活動
- ・ 他団の活動を知る
- ・ 活動の推進力としてのリーダーとは

◆講義

- ・ 赤十字の1年
- ・ 「ウイルスの次にやってくるもの」

◆映像放映

□内容

参加者 22団50人

場 所 高岡市ふれあい福祉センター

開催日 7月31日(金)

参加者 23団55人

場 所 サンシップとやま

開催日 7月16日(木)

参加者 23団55人

場 所 サンシップとやま

開催日 7月16日(木)

参加者 23団55人

場 所 サンシップとやま

参加者の感想

- ★コロナ感染が収まらないため、体をかけた活動はなかなか難しいと思われる。今は社資等の協力で補う方向だと思う。
- ★ひとり暮らし宅への訪問では、こちらが申し訳なく思うほど丁寧に御礼を言われてしまう。何気なく行ったけれど、ああ良かったなと思いました。

- ★団員の高齢化に伴い、新規入団者がなかなかいません。赤十字活動のやりがい、魅力をどう伝えていけばよいのか悩みます。
- ★他の支部の活動など、参考となる事例の紹介など知る機会があれば良いと思う。
- ★被災地での救護活動、奉仕活動について、経験者のお話を聞きたいです。

Q. 献血が社会の中でいかに有効に活用されているのか、もっと知りたいです。

A. ぜひ血液センターに見学に行ってください。血液製剤の使い方や供給課の設備などをご見学いただけます。

Q. 無線奉仕団の活動とは、どのようなことをされているのですか。

A. アマチュア無線愛好者で組織されており、普段はJARL（日本アマチュア無線連盟）富山県支部としても活動されています。災害時に赤十字の救護活動を円滑に遂行させるためにも日頃から通信訓練を行うなど技術の研鑽を行っています。

Q. 他団体との連携をどのように進めれば良いのか。

A. 顔の見える関係作りと奉仕団の活動内容を知っていただくことが第一歩だと考えます。総会資料を渡している団もあるようです。

Q. 当地域では防災に関する意識・取組みが希薄です。自治会と連携し、防災イベントを行いたいのですが、どうしたらよいですか。

Q. 「赤十字防災セミナー」について詳しく知りたい！

A. 地域の防災イベントでは、炊き出し体験や赤十字の救援物資の展示を行う奉仕団が多いように思います。まずは、地域のみなさんと一緒に「考える」きっかけ作りとして、「赤十字防災セミナー」を受講されてはいかがでしょうか。

◆赤十字防災セミナー◆

過去の災害の教訓を踏まえ、大規模災害から人々のいのちを守るためには、地域コミュニティにおける「自助」と「共助」の力を高める防災教育が重要となっています。

あなたの街で災害が発生したら…予想される被害や救助活動、避難生活などの課題を具体的にイメージしながら、命を守る方法を地域に密着した形で学ぶのが「赤十字防災セミナー」です。

【内容】下記カリキュラムより組み合わせが可能です。

・災害への備え

災害・防災についての考え方、想定される被害等から備えの重要性を理解する

・災害エスノグラフィー

被災者の経験談を通じて、過去の災害を追体験することで被災を具体的にイメージする

・災害図上訓練（DIG）

地域の防災マップの作成を通じて、防災上の資源や危険箇所を把握・理解し、個人や地域で予め行うべきことを検討する

Q. 災害時に炊き出し以外で出来ることはありますか。

A. 災害の規模によりますが、炊き出しも一回限りでなく1日3食×複数日が想定されます。赤十字奉仕団が地域防災組織の一員となっているのであれば、避難所が開設されれば、その運営メンバーの一員として受付や環境美化、救援物資の受取や配布などあらゆる場面で必要とされるかもしれません。また、女性団員であれば、授乳をされたいお母さんや着替えをしたい少女にも寄り添ってあげてほしいとも考えています。県支部でも災害対策本部が立ち上がり県外からも救護班がやってくるため、その受け入れに伴う事務作業や義援金の受付にお力を貸していただくかもしれません。大規模災害が発生すれば、一日や二日で終息するわけではありません。地域で、県全体で一丸となって取り組みたいと考えています。

Q. 子どもたちと一緒に出来る取組みを教えて欲しい！

A. 他のボランティア団体に比べ、青少年赤十字加盟校（幼稚園・保育園・小学校・中学校・義務教育学校・高校・支援学校）と既に接点があることが赤十字の強みです。最終的にはそれぞれの学校長判断となりますが、赤十字奉仕団を学校側に紹介することも可能です。連携をお考えの団は、県支部にお問い合わせください。

子どもたちとの連携活動としては、全国的に見てもやはり「炊き出し」が人気です。防災教育「まもるいのちひろめるぼうさい」（小中高高校生向け）や「まちがいさがしきけんはっけん」（幼児向け）、赤十字講習と合わせてお考えであれば、県支部職員も学校に出向いてお手伝いします。

《我が団の紹介》

黒部市石田赤十字奉仕団

委員長 出戸端 淑子

当団は、昭和57年7月に黒部市初の赤十字奉仕団として石田地区に結成され、令和4年には創立40周年を迎えます。

地元婦人会役員15名で発足し、現在、団員は40名で地域住民との交流を大切に活動しています。

結成当時から継続している活動として、障害児入所施設「黒部学園」では、児童が使う衣類・寝具の補修、ちり紙折りの作業を行うとともに学園祭などの行事にも参加し、ふれあい活動を大事にしています。にいかわ総合支援学校でも運動会やクリスマス会などの行事で交流をしています。地域の防災訓練での炊き出しや災害義援金の募金活動は、赤十字奉仕団の活動を身近に知っても



らう良い機会になっています。団員の親睦を図るための温泉旅行や活動資金集めの友愛セールの昼食会などは、楽しいひとときです。

昨年は、コロナ禍のため、ほとんどの活動が中止になり、団員が集う機会を持つことが出来ませんでした。早くコロナが収束し、皆さんと一緒に活動できることを願っています。

新庄北赤十字奉仕団(富山市)

委員長 土肥 靖子

私達の新庄北校区は平成20年新庄より分離・独立した富山市で一番新しい校区です。又奉仕団は遅れて26年に分離し県下で最後に誕生した地域奉仕団です。県支部までの距離が最も近くお世話になっております。団員は現在77名です。

昨年来の新型コロナウイルス感染の拡大に伴い活動の範囲が制限されています。私達奉仕団だけでなく、例年なら地区の行事も活発で、それに伴い地域奉仕団として参加・活動しておりました。今年度は別にして少しご紹介します。

サマーフェスティバル、秋の文化祭、第一高校文化祭とこれらは全て炊き出しが中

心で赤十字をPRする良い機会と思っています。

私達の炊き出しは無料を提供する代わりに、皆様にお気持ちをいただき義援金として

被災地にお届けしております。赤十字助合いの精神がここに生きていると感じていますし、災害時の救護活動の一助になればと特に力を入れております。

ふるさとウォーク、住民体育大会、その他屋外で大勢の人が参加する行事には、救護班として参加し地域のニーズに合った活動を心掛けています。

もちろん富山県赤十字奉仕団の6つの統一活動は常に中心にあります。

今年度最後まで先送りとなったのは、皆様心待ちにしておられた団員間の研修を兼ねた親睦会です。

早く平穏な日々が戻り、今までの活動ができることを祈っています。



奉仕団研修旅行

令和3年3月2日開催の常任委員会で、令和3年度に予定してありました研修旅行「日本赤十字発祥の地・九州を巡る旅」は、新型コロナウイルス感染の収束が見通せないため次年度に見送ることとなりました。

旅行を楽しみにされていた皆様には申し訳ない限りですが、皆様健康と安全を最優先に考えた措置であることをご理解いただきたく存じます。

SNSページ開設

富山県青年赤十字奉仕団が、SNSを始めました。アカウントをお持ちの方は、フォローをお願いします。

- ◎ Instagram
- ◎ Twitter



どちらも

◇フルネーム

富山県青年赤十字奉仕団

◇ユーザー名

toyama_rcy

令和2年度 富山県支部扱い義援金・救援金

※金額及び件数は1/31※

国内	東日本大震災義援金	30件	353,343円
	平成28年熊本地震災害義援金	11件	66,329円
	平成29年7月5日からの大雨災害義援金	1件	5,000円
	平成30年7月豪雨災害義援金	4件	106,103円
	令和元年台風第19号災害義援金	44件	467,778円
	令和2年7月豪雨災害義援金	53件	4,083,896円
海外	中東人道危機救援金	2件	60,000円
	バングラデシュ南部避難民救援金	1件	20,000円
	令和2年度NHK海外たすけあい	648件	4,697,479円

合計 794件 9,859,928円

(奉仕団からの報告があった場合を除き、郵便振替を利用され日赤本社や被災地支部に直接送金された分の件数・金額は、この記載に含まれておりません)

ボランティア保険

日赤県支部が加入しているボランティア保険について、お知らせします。

不慮の事故(大小に関わらず)の際は、所属奉仕団委員長を通じて、市町村の日赤担当者や県支部へ報告して下さい。

○保障内容

- ・他者への賠償金 5億円
- ・自身の傷害 死亡・後遺障害

1、254万円

入院一日ごと 6、300円

通院一日ごと 4、200円

○保障となる活動

- ・日本国内における奉仕団活動
- (所属奉仕団及び日赤県支部が認めるもの)

※会議や研修会も含まれます。海難、山岳救助活動は対象となりません。



表彰を受けられた方々おめでとうございます。今後益々のご活躍をご期待申し上げます。

業務功労

●銀色有功章（継続15年）

【奉仕団委員長】

金森 辰美（朝日丘赤十字奉仕団（永見市））

竹苗 典子（下村赤十字奉仕団（射水市））

長井久美子（南砺市福野赤十字奉仕団）

●金梓感謝状（継続10年）

【奉仕団委員長】

小林 福治（富山県青少年赤十字賛助奉仕団）

清水 晴乃（宇奈月赤十字奉仕団（黒部市））

田辺 恵子（高岡中央赤十字奉仕団）

廣田 律子（魚津市赤十字奉仕団）

●銀梓感謝状（継続5年）

【奉仕団委員長】

田村 義秋（清水町赤十字奉仕団（富山市））

深川 紀子（上市町赤十字奉仕団）

古川寿加子（舟橋村赤十字奉仕団）

社資功労

●日本赤十字社社長感謝状

藤井 暁子（としび赤十字奉仕団）

山下 和夫（伏木赤十字奉仕団（高岡市））

●銀色有功章

長井久美子（南砺市福野赤十字奉仕団）

株式会社シオ建築設計事務所

（朝日丘赤十字奉仕団（永見市））

※社資功労は、奉仕団員と奉仕団幹旋の受

章者のうち、ご承諾をいただいた方のみ

掲載しております。（R2・2・1～R

3・1・31）

（敬称略）（五十音順）

令和3年度に

周年記念を迎える奉仕団

50周年

下村赤十字奉仕団（射水市）

宇奈月赤十字奉仕団（黒部市）

40周年

上市町赤十字奉仕団

大島赤十字奉仕団（射水市）

砺波市赤十字奉仕団

30周年

南砺市利賀赤十字奉仕団

20周年

富山県無線赤十字奉仕団

富山県青少年赤十字賛助奉仕団



へんのじゅん

令和3年に入り、1月中旬には35年ぶりの大雪となり「交通マヒ」「雪かき」と大変な事に見舞われました。桜のつばみもふくらみ、春本番を心待ちにしております。

今年度、コロナ禍でも各奉仕団は感染予防に留意しつつ活動に励んでおられました。献血呼びかけ、ひとりくらし高齢者訪問、海外たすけあい、コロナガイドの活用などコロナと云う苦難を前に心をひとつにし、思いを寄せあった年でもありました。今はまだコロナによる不安と緊張の中にあつて、ワクチン接種という少しの明かりが見えかけています。一日も早い収束を願うとともに、各奉仕団に笑顔が戻ってきますよう祈ってやみません。

ご寄稿下さった皆様に心からお礼申し上げます。（吉久睦 野村記）

編集委員

野村 絹子 山田 順子
土肥 靖子 出戸端淑子
永田 信子 田中 幸子
野原喜恵子